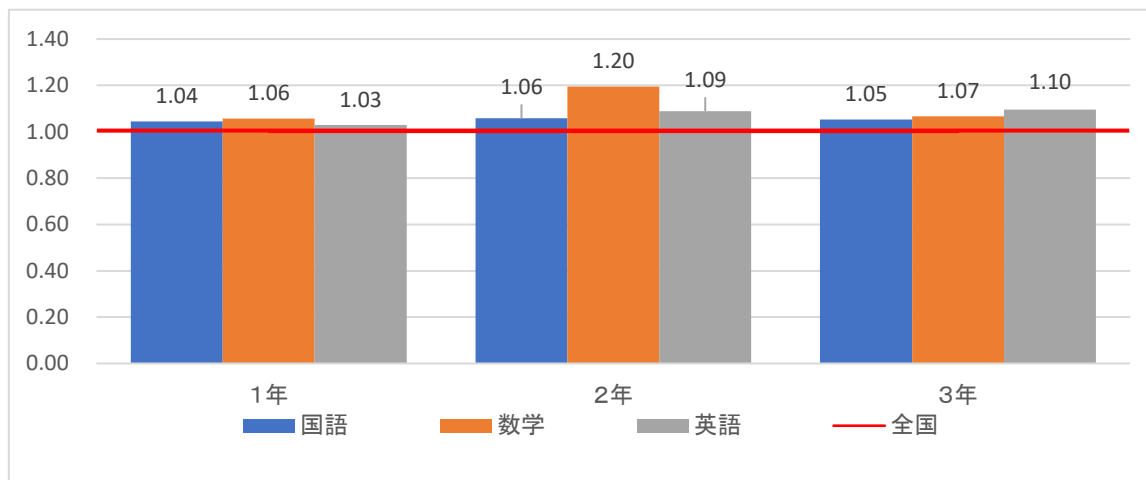


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 望が丘中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査
中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1,2年生共に全国平均を上回った。1年生では「話すこと・聞くこと」領域、2年生では「書くこと」領域に課題が見られた。今後は、単元ごとの言語活動を充実させ、また題材に合わせて「書くこと」にも特化した授業を行っていく。
	数学	1,2年生共に全国平均を上回った。引き続き、「データの活用」領域について、様々な資料を読んで多角的に分析を行いながら、より多くの課題に取り組んでいく。
	英語	3学年すべて全国平均を上回った。「場面に応じて書く英作文」の問題に課題が見られる。引き続き、場面や状況を適切にとらえて文章を書く課題を設定しながら改善を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	全国平均を上回った。文章全体と部分との関係を掴む力や他者の発言を踏まえて自分の意見をまとめる力に課題が見られた。今後は、字数や条件をみだして自分の意見をまとめる学習場面を設けていく。
	数学	全国平均を上回った。数学的な表現を用いて説明する問題に課題が見られた。引き続き、複数の情報やデータからその傾向を読み取り、説明をする課題に取り組みながら改善を図る。
	質問紙	授業でのPC、タブレットなどICT機器の使用頻度の割合が高く、全国平均を大きく上回った。使うことが目的とならないよう、より効果的な活用場面を設定しながら学習を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

以下の取組を通して、9年間の段差のない、絶え間ない学力向上をめざす。

- ・全国学力テスト・到達度テスト等の結果を分析し、共通の課題を見つけ、小中合同で研究授業や授業公開を行い、指導改善につなげる。
- ・ディベートを含め、各教科9年間を見通したカリキュラムの作成・点検・改善を行う。
- ・家庭学習の定着に向けて「自主学習ノート」の取組を改善する。
- ・各種加配教員による校種間連携を充実させ、各教科の指導方法の工夫改善を図る。

【学校】

学習内容の完全習得を目指して、以下の取組を行っている。

- ・1年生の数学で演習の時間（週1時間）を設定して、複数の教員が関わり、基礎基本の確実な定着を図りながら、活用の課題にも取り組んでいる。
- ・少人数習熟度別学習（2年の数学・英語各週1時間1クラス3分割）で、1クラス複数の教員が関わり、理解度に応じて学習内容の定着を図る。
- ・5教科の授業開始時に、5分間で完結する小テスト（主に前時の復習）を実施し、各教科の学力向上に結びつけている。
- ・形成テストの補習を、水曜日放課後に実施し、基礎基本の授業内容を完全に習得させる。